



多職種で患者様を支えるミニカンファを紹介します！

医療の現場は常に**多職種間での情報共有**が欠かせません。そのため、当院では毎週かつ各診療科ごとにカンファレンスを行っています。

カンファレンスの場では患者様について今後の方針などの情報共有を行い、多職種連携を図ることで、質の高い医療の提供に努めています。

当院のリハビリテーション科内でも、入院患者様へリハビリを行うにあたってカンファレンス（以下、ミニカンファ）を実施しています。お互いに一番身近な他職種であり、リハ職同士の連携が患者様の能力向上に直結すると考えます。そこで今回は、リハビリテーション科内で実施しているカンファレンスの様子を紹介します。

ミニカンファとは

- ✓ メンバーは**理学療法士、作業療法士、言語聴覚士**の3職種が参加しています。
- ✓ 入院患者様の退院に向けた**目標設定**や**リハビリの進捗具合**を確認します。
- ✓ メンバー間で課題を共有し、支援の方向性を検討しています。

患者様へのメリット

- ✓ **リハビリの方向性を共有できる**
チームで目標を確認し、ブレのない支援を行います。
- ✓ **新たな課題を早期に発見できる**
主任によるチェックが行われ、アドバイスを得たり他の問題点に気付いたりできます。



新人職員はカンファレンスという緊張感がある場で自身で設定したゴールや到達できる期間を簡潔に伝えなくてはなりません。『緊張感のある場で伝える』という事をミニカンファで経験することで、情報を簡潔にわかりやすく伝える能力が身についていきます。

今後も、入院患者様への早期退院に向けて多職種連携を図っていきます。

■ 医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
主治医にご相談ください。

▶ 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料
摂食機能療法



心臓リハ部門 主任
松下知史

病院リハ部門 主任
丸山あすみ

■ 通所リハビリテーション関越中央

1～2時間の短時間通所リハ、6～7時間の長時間
通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様
に合わせた最適なプランを提案させていただきます。

■ 訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、
心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用
頂けます。



介護リハ部門 主任
狩野和子 田口裕一

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00～10:15	○	△	○	△	△
短時間型通所リハ 2クール 10:30～11:45	△	△	○	△	△
長時間型通所リハ 9:00～15:15	△	○	○	○	△
訪問リハビリ 13:00～17:00	△	○	△	○	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

ひとことコラム 第 83 回

「笑顔がもたらす健康効果」

皆さんは最近、声を出して笑っていますか？笑うことは気分を明るくするだけでなく、心と体の健康にも良い影響を与えることが知られています。

『笑う』と脳が刺激され、ストレスホルモンの分泌が低下し、心身がリラックスした状態になりやすいと言われています。また、『笑う』ときは自然と深い呼吸になり、自律神経のバランスが整い、気分の安定やストレス軽減につながります。さらに、NK細胞（ナチュラルキラー細胞）という免疫細胞が、楽しく笑った後に活性化が高まったことが報告されており、『笑い』が体を守る力を後押ししている可能性が示されています。また、よく笑う人ほど自分自身を健康だと感じている割合が高いという調査結果もあります。

『笑顔』は病気を治す魔法ではありませんが、ストレスを和らげたり、人との繋がりを深めたりと心身の健康を支える大切な習慣の1つです。皆さんも、毎日の生活の中で、『笑顔』になれる時間を大切にしてみてくださいはいかがでしょうか

